

## クリ有望品種「美玖里」はここが違う！

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構が育成した「美玖里」は、やや晩生の大果で、「筑波」の後に収穫できる品種である。果実が大きく、果皮は光沢のある褐色が美しく、外観が優れる。「筑波」と比較し果肉は黄色で、ホクホクとした粉質で、色味や食味等も優れる。本県のクリ栽培の主力品種である「筑波」の後を補完する品種として有望である。

### 内 容

「美玖里」(交配親：石鎚×秋峰)の主な特性は以下のとおりである。

樹勢は強く、やや直立性を示す。雌花の開花期は遅く、「石鎚」とほぼ同じ6月上旬である。収穫期は9月下旬で、「筑波」と「石鎚」の間である(表)。

果実は28g程度と大きく、果皮は光沢のある褐色で(図)、実の外観揃いは良好である。甘味と香気は「筑波」と同程度で「石鎚」より強い。果肉は黄色で、デンプンが充実しているため肉質は粉質で、「筑波」や「石鎚」よりホクホクとしている。甘味と香気は良食味品種の「筑波」と同程度で「石鎚」より強く、総じて食味は優れる(表)。なお、渋皮の剥皮は従来のニホングリと同様に困難である。

裂果、腐敗果は「筑波」と同程度で少なく、虫害果の発生率は「筑波」と比べてやや高い(表)。収穫は穂ごと落ちるため、手早く集めることが可能であるが、穂剥きが必要となる。

### 普及上の注意事項

樹勢が強く、樹姿はやや直立性で高木になりやすいため、整枝せん定等の管理を徹底し、樹高の制御が必要である。

害虫に対する薬剤防除は一般的な中生品種の防除暦から1週間程度遅らせる必要がある。

「筑波」と「石鎚」の間を補完する品種として活用できる。

黒田 英明(農産園芸部)

(問い合わせ先 電話：0790-47-2424)



図 「美玖里」の果実外観

表 「美玖里」の樹性及び果実特性(2018~2019年の平均値)

品種・系統名	収穫盛期(月/日)	裂果率(%)	腐敗果率(%)	虫害率(%)	1果平均重(g)	揃い	比重	果肉色	肉質	甘味	香気
美玖里	10/1	8.5	3.5	2.5	27.5	良	1.090	黄	粉質	やや多	やや多
筑波	9/25	5.5	8.3	1.4	26.7	やや良	1.067	淡黄	やや粉質	やや多	やや多
石鎚	10/6	27.1	4.0	5.9	25.9	良	1.064	淡黄	中	中	中